

平成30年2月8日

各位

会社名 株式会社フージャースホールディング
代表者名 代表取締役社長 廣岡 哲也
(コード番号：3284 東証第1部)
問合せ先 グループ戦略室長 北川 智哉
電話番号 03 - 3287 - 0713

一部コミットメント型ライツ・オファリング (追加Q&A)

平成30年1月19日付公表「一部コミットメント型ライツ・オファリングに関するお知らせ」でお知らせいたしました一部コミットメント型ライツ・オファリング(上場型新株予約権の無償割当て)に関する、よくあるご質問について、同日付公表「一部コミットメント型ライツ・オファリング(Q&A)」でお知らせしておりましたものに追加して、以下のとおりQ&Aとしてまとめましたので、ご参照いただきますようお願いいたします。

Question	Answer
<p>Q 1-1 本ファイナンスが既発表の中期経営計画に影響を及ぼすことはありますでしょうか？</p>	<p>A 1-1 影響はございません。万が一、本ファイナンスが不調に終わった場合でも既発表の中期経営計画は達成する見込みです。</p>
<p>Q 1-2 本ファイナンスが成功した場合、既発表の中期経営計画に与える影響はありますでしょうか？</p>	<p>A 1-2 2020年3月期以降の中期経営計画の数字が上積みされる可能性、若しくは大幅な計画の見直しを行う可能性があります。</p>
<p>Q 1-3 利益計画に変更があった場合、配当性向の20%は維持されますか？</p>	<p>A 1-3 既発表のとおり、配当性向20%を維持する予定であります。上積みに関しては今後検討する可能性があります。</p>
<p>Q 1-4 フージャースが目指すヘルスケアリートはどのようなものですか？</p>	<p>A 1-4 介護系の高齢者賃貸住宅ではなく、アクティブシニアをターゲットとした賃貸住宅、病院、スポーツジム及び医療モール等の健康促進施設を中心とした新たなヘルスケアリートを模索しております。</p>
<p>Q 1-5 バイオマス事業はどのようなものでしょうか？</p>	<p>A 1-5 パーム油（食用でない）等を燃料とする発電です。化学薬品等を用いた発電につきましては、現状検討しておりません。</p>
<p>Q 1-6 バイオマス事業の利回りはどれぐらいか？</p>	<p>A 1-6 当社が保有する予定のバイオマス発電所の年間最大発電量及び現時点におけるバイオマス電力の小売単価（経済産業省が公表している再生可能エネルギーの固定価格買取制度で20年間買取が保証）、2017年1月から12月までのバイオマス（燃料）の年間平均市場価格に輸送費等を加えた調達コスト、並びに当該発電</p>

	<p>所の設備投資額を前提とすると、投下資本内部収益率（いわゆる EIRR）は約 23.8%と見込まれます。同様に、2016 年の年間平均市場価格に輸送費等を加えた調達コストを前提とすると、EIRR は約 43.8%と見込まれます。</p> <p>なお、当該数値は現時点における当社の試算であり、将来のバイオマスの市場価格、実際の発電量及び売電量、電力単価、発電所の稼働の時期及び稼働率など多くの不確実性が存在する点にご留意ください。</p>
<p>Q 1 - 7 今期末の期末配当は一株当たり何円になりますか？</p>	<p>A 1 - 7 別紙リリース（平成 30 年 2 月 8 日付 「配当予想の修正に関するお知らせ」）をご確認ください。</p>
<p>Q 1 - 8 行使の手続きに関して、どうしたらよいか？</p>	<p>A 1 - 8 お取引先証券会社様にて手続きをしていただきます。証券会社によって手続が異なる場合がありますので、必ずご自身で、お取引先証券会社様にお問い合わせください。</p>
<p>Q 1 - 9 行使書類は郵送されますか？</p>	<p>A 1 - 9 お取引先証券会社様に指定の書式がある場合もありますので、お取引先証券会社様にお問い合わせください。</p>